

# 平成31年度 選挙管理委員会事務局運営方針

## 選挙管理委員会の使命と役割

選挙は、日本国憲法によって保障された国民の参政権を具体的に行  
使用する重要な制度であり、機会です。

間接民主制をとる我が国においては、国政や市政の代表者を選ぶ選  
挙が公正かつ適正に行われることによって、はじめて民主的な政治が期  
待できるものであり、ここに選挙管理委員会が設置された重要な意義が  
あります。

選挙管理委員会は、選挙が公正かつ適正に行われるよう取り組むこと  
はもとより、常にあらゆる機会を通じて有権者の政治意識や投票参加意  
識の向上に努めるとともに、選挙時には棄権防止や投票参加を積極的  
に呼び掛けることを責務としています。

以上のことを踏まえ、選挙管理委員会に関する事務を処理する事務局  
は、選挙に係る情報等の的確な把握と対応を行うとともに、職員の専門  
性の向上に向けた研鑽や業務の改善等に努め、信頼される選挙事務と  
なるよう取り組みます。

大事な投票、忘れずに!



## 平成31年度 選挙管理委員会事務局運営の総括表

基本方針・重点方針				
公正、適正かつ正確な選挙事務の管理執行を行うとともに、有権者の政治意識の向上のため、あらゆる機会を通じて政治や選挙への関心を高める啓発等の取組を行う。				
平成31年度重点取組				
取組名		目標	計画・条例等	所属等
選挙事務の 管理執行	1	統一地方選挙（京都市・府議会議員一般選挙）の管理執行	・適正・円滑な執行(4月7日実施済)	公職選挙法
	2	参議院議員通常選挙の管理執行	・適正・円滑な執行(平成31年7月28日任期満了)	
	3	京都市長選挙の管理執行	・適正・円滑な執行(平成32年2月24日任期満了)	
若い世代への啓発事業の実施	4	明るい選挙出前授業の実施	・市内小学校，中学校，高等学校等での実施	選挙課
	5	学生団体等との啓発事業の連携強化	・大学生等との明るい選挙出前授業の共同実施 ・学生団体が自主的に行う選挙の啓発活動への支援	
	6	ポスター・論文コンクールの実施	・小・中・高校生を対象にポスターを募集し，中学生以上18歳未満の若者を対象に論文コンクールを実施 ・7月に募集開始，10月（ポスター）及び12月（論文）に優秀者を表彰	
	7	新有権者を対象にしたリーフレットの発行	・選挙についてわかりやすく解説したリーフレットの作成	
職員能力事向上	8	各種選挙に向けた従事職員に対する研修の実施，選挙事務を適正・円滑に進めるための様々な事例の共有化の継続的な取組	・研修テキストの改正 ・新任書記研修の実施 ・ヒヤリハット集の充実 ・選挙事務マニュアルの充実	
保執行体制の確	9	公正、適正かつ正確な選挙執行のための体制の確保	・継続的かつ安定した選挙執行体制の強化 ・本庁職員によるフォローアップの対象職員の拡大	
職場環境	10	風通しのよい職場環境づくり	・「報告・連絡・相談」の徹底 ・事業進ちょくや課題，情報の共有	
	11	働き方改革の推進	・超過勤務の縮減 ・地域活動等への積極的な参加	

## 【平成31年度の重点取組の概要】



### ○ 公正、適正かつ正確な選挙事務の管理執行

任期満了を迎える以下の選挙について、公正、適正かつ正確な選挙事務の管理執行を行う。

- 1 京都市・府議会議員一般選挙（執行済）  
任期満了日 平成31年4月29日（月・祝）  
投・開票日 平成31年4月7日（日）
- 2 参議院議員通常選挙  
任期満了日 平成31年7月28日（日）
- 3 京都市長選挙  
任期満了日 平成32年2月24日（月・祝）



### ○ 若い世代等への啓発事業の実施

投票率の低下に歯止めがかからない昨今の状況を踏まえ、選挙の執行が続く今年度は、若い世代を中心とする平常時の啓発事業（常時啓発）に加えて、選挙時の啓発事業を効果的に実施することにより、幅広い世代の有権者の投票行動を促す。

#### 4 常時啓発

小・中・高校生を中心に、若い頃から政治や選挙への興味・関心を育み、真摯に政治に向き合う有権者、主権者としての自覚を持つ有権者の育成を図るため、「明るい選挙出前授業」や「ポスター・論文コンクール」、さらには、新たに取組を進めている学生団体等と連携した啓発事業などを実施する。また、新有権者となる高校3年生や若年勤労者（主に18歳、19歳対象）に対しては、選挙について解説した啓発チラシの配布などを行い、具体的な投票行動に結びつくよう強く働きかける。

#### <主な取組>

##### (1) 「明るい選挙出前授業」の実施

<30年度実績> 小学校（393人），中学校12校（1,784人），  
高等学校8校（1,695人）

##### (2) 「ポスター・論文コンクール」の実施

<30年度実績> ポスター応募数22校（328人），論文応募数35校  
（2,236人）

#### 5 選挙時啓発

今回の市・府議会議員選挙における過去最低の投票率更新など、昨今の選挙の状況を踏まえ、民主主義の危機的な状況との認識のもと、あらゆる機会を捉えて、幅広い世代の有権者に投票参加を呼び掛け、投票率の向上に取り組む。

また、来年2月24日の任期満了に伴う市長選挙は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられてから初めてとなる市長選挙であり、京都市政の方向性を決める重要な選挙であるということを、若い世代の有権者にしっかりと訴求していく。

## ○ 市・区選挙管理委員会事務局職員の事務能力向上のための取組

### 6 各種選挙に向けた従事職員に対する研修の実施，選挙事務を適正・円滑に進めるための様々な事例の共有化の継続的な取組

新任書記研修の実施により，選挙管理委員会事務局職員の事務能力の向上を図るとともに，選挙執行に係る具体的事例を集約したヒヤリハット集や選挙事務マニュアルの充実及び研修テキストの改正によって，選挙事務を適正・円滑に進めるための事例の共有化を図る。

## ○ 選挙執行体制の強化及び信頼される選挙事務の執行

### 7 選挙執行体制の強化

令和元年度に執行予定の参議院議員通常選挙及び京都市長選挙を見据え，選挙執行体制における本庁職員によるフォローアップの対象職員の拡大など，各局区等の御協力のもと，継続的かつ安定的な選挙執行体制の強化に取り組む。

### 8 信頼される選挙事務の執行

区選挙管理委員会事務局と連携し，継続的に選挙事務の点検・見直しを行い，より一層，公正，適正かつ正確で信頼される選挙事務を構築する。

## ○ 働きやすい職場環境づくり

### 9 風通しのよい職場環境づくり

「報告・連絡・相談」を徹底するとともに，週1回開催する補職者会議において，事業進ちよくや課題，情報を共有化するなど，風通しのよい職場環境づくりを進める。

### 10 働き方改革の推進

区選挙管理委員会事務局とともに，選挙事務の見直しにより超過勤務の縮減に取り組む。

また，地域活動等に積極的に参加し，そこでの知見を更に業務に反映させられるような職場づくりに取り組む。



**【平成31年度予算】**

項 目	金 額
選挙管理委員会運営費 (うち常時啓発費)	8,350千円 (3,730千円)
市府会議員選挙費	400,000千円
参議院議員選挙費	426,000千円
市長選挙費	469,750千円
総 額	1,304,800千円